

# 大腸CT検査のご案内

## ●大腸3DCT検査とは

CT コロノグラフィ(CTC)とも呼ばれ、大腸にガスを注入し拡張させ比較的侵襲かつ、当院CTの検査処理能力を生かし短時間に大腸の3次元画像を簡便に得ることができます。

## ●検査の流れ

検査2日前

前処置の一環で便を出やすくします

検査前日

### 前処置

CTC専用検査食を食べて頂き3回に分けて造影剤を飲用し、夜に下剤を飲んで頂きます

**検査当日** 鎮痙剤(腸の動きを抑える)注射を行う場合があります

### 炭酸ガスによる大腸の拡張

約8mmの専用カテーテルを肛門から僅かに挿入し、炭酸ガスを注入することで大腸を拡張させます。炭酸ガスは腸管から速やかに吸収されるため、検査後の膨満・腹痛はほとんどありません。

約10分

### CT撮影

うつ伏せと仰向けの2体位で撮影を行います。位置合わせ撮影と本撮影を2回繰り返します。

### 検査終了

検査後は普通に食事をして頂いて結構です。

注射された場合その影響により検査後しばらくは目がちらついたりする事がありますので、しばらくお車の運転などは控えてください。

### 画像処理

撮影したCT画像データを用いて画像処理を施し、大腸の3次元診断を行います。大腸CT検査の結果は他の検診結果と共に提出させていただきます。

本件予約に関するお問い合わせは

## ●前処置について

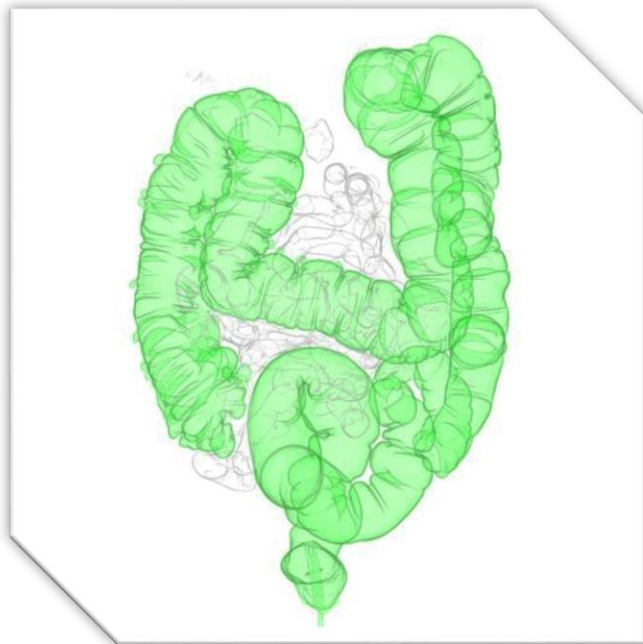
他の大腸検査同様に腸の中をきれいにする必要があります。しかしながら大量の下剤は、必要ではありません。検査前日の検査食の後に少量の造影剤を飲んでいただき、就寝前に軽い下剤を服用していただきます。

前処置についての詳細に関しては送付しました用紙をご確認ください。

## ●大腸CT検査(CTC)による画像診断

マルチスライスCTのデジタル画像データを活用することで、多彩な大腸の3次元画像表示が可能となります。

※一部画像添付



参照画像: Air image像